

【令和5年度】認知症への理解を深めるための普及啓発の実施状況

圏域等	市町村	事業名（取組等）	対象	対象詳細	R5 実施回数	運営従事者	実施経緯・工夫	R6予定
仙南	白石市	認知症サポーター養成講座	住民	地域住民	1回	地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員	グループワークをしながら行った。	随時対応
		認知症サポーター養成講座	公務員	市役所新規採用職員	1回	地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員	寸劇を交えながら行った。	随時対応
		認知症サポーター養成講座	住民	民生委員・児童委員	1回	地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員	事例などを交えながら行った。	随時対応
		認知症に関する出前講座	住民	民生委員・児童委員	1回	地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員	認知症に関してのより詳しい説明や、難聴の話も交えながら行った。	随時対応
		キャラバンメイト・住民ボランティア研修会	キャラバンメイト・住民	介護支援専門員、事業所職員、地域包括支援センター職員、地域住民	1回	地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員	認知症の当事者の方に来てもらい、診断前後の生活や日々の工夫、感じていることなどを話してもらった。	継続
		世界アルツハイマーデーについてパンフレットを配	住民	市内居宅介護支援事業所	1回	地域包括支援センター	認知症カフェや家族のつどいのお知らせと共に、パンフレットチラシを配布し啓蒙した。	継続
角田市	角田市	認知症サポーター養成講座	市内小中学校	市内6ヶ所の小中学校	6回	キャラバンメイト、地域包括支援センター、健康長寿課	講座内の寸劇に担当教諭や参加生徒にも参画してもらい、一体的な講座展開を図った。	継続して小・中学校と連携しながら、認知症サポーター養成講座を開催予定。
		認知症サポーター養成講座	消防団	117名の消防団員	1回	キャラバンメイト、健康長寿課	消防団の主管課である防災安全課と共に企画しながら実施した。内容については災害と認知症というテーマも取入れながら講座を開催。	現時点では未定。今後も、必要時開催の検討を主管課と行う。
		認知症サポーター養成講座	商工会	20名の商工会員	1回	地域包括支援センター、健康長寿課	金銭のやりとりが発生する場面を想定した対応例の映像教材を活用しながら講座を開催した。高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの情報提供も行った。	現時点では未定。
		認知症サポーター養成講座	住民	25名	2回	キャラバンメイト、健康長寿課	高齢者の総合相談窓口である地域包括支援センターの情報提供を行いながら、講座を実施	次年度も継続実施予定。
		アルツハイマーデー及び月間における取組	住民	広報掲載	9月	健康長寿課	市広報にアルツハイマーデー周知の掲載と共に認知症に関する記載や相談窓口を掲載。	継続
		アルツハイマーデー及び月間における取組	住民	街頭での普及啓発活動	9月	健康長寿課	市内スーパーにて街頭キャンペーンを実施。市内関係機関にはポスター掲示や相談窓口案内チラシ入りポケットティッシュを設置配布してもらった。	継続
		認知症サポーター養成講座	高校生	町内にある高校1年生を対象に実施（55名）	年1回	キャラバンメイト、地区内のボランティア活動団体	対応例を寸劇で観てもらい、具体的な対応策をその後に考えてもらった。また、グループホームでの高齢者の様子を紹介した。	年1回継続
蔵王町	蔵王町	認知症サポーター養成講座	住民	希望があった団体に対し実施	随時	キャラバンメイト、地区内のボランティア活動団体等	具体的な対応策を考えてもらうワークを実施	継続
		世界アルツハイマーデーに合わせて記事を掲載	住民	住民	年1回	地域包括支援センター職員	入選した標語を記事に掲載している。	継続
		はつらつ長寿支援事業	住民	高齢者の通いの場	随時	地域包括支援センター職員	認知症についての講話等	継続
		広報誌に認知症理解に関する記事を掲載	住民		年1回	高齢者福祉担当	認知症とはどんな病気か、早期発見の目安、相談窓口を掲載	継続
大河原町	大河原町	認知症サポーター養成講座	住民	介護予防サポーター対象として実施（8名）	年1回	キャラバンメイト、保健師	認知症とはどんな病気か、早期発見の目安、相談窓口、認知症カフェ活動の啓発	介護予防サポーター養成講座のカリキュラムとして実施予定
		認知症セミナー	小学生 住民	ベッパー君と認知症を学ぼう（24名）	年1回	キャラバンメイト、認知症地域支援推進員、ソフトバンク職員	認知症とはどんな病気か、早期発見の目安、相談窓口、認知症カフェ活動の啓発	認知症セミナーはアルツハイマーデーに合わせて開催予定
		認知症サポーター養成講座	住民	地区健康教室参加者対象（11名）	年1回	キャラバンメイト、認知症地域支援推進員	認知症とはどんな病気か、早期発見の目安、相談窓口、認知症カフェ活動の啓発	地域住民からの依頼時に随時対応する。
		認知症サポーター養成講座	住民	認知症カフェ参加者対象（15名）	年1回	キャラバンメイト、認知症地域支援推進員	認知症とはどんな病気か、早期発見の目安、相談窓口、認知症カフェ活動の啓発	町内の各認知症カフェにおいて年1回は継続開催。
		認知症サポーター養成講座	住民	認知症カフェ参加者対象（8名）	年1回	キャラバンメイト、認知症地域支援推進員	認知症とはどんな病気か、早期発見の目安、相談窓口、認知症カフェ活動の啓発	町内の各認知症カフェにおいて年1回は継続開催。
村田町	村田町	認知症サポーター養成講座	小学生	2か所の小学校で4年生を対象に実施。	年2回	キャラバンメイト	小学生の福祉教育の一貫で依頼あり。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症カフェ	住民	認知症の方やその家族、認知症に関心のある方	年11回	包括、町内ケアマネ	カフェ内のミニ講話で正しい認知症理解と啓発を図った。	年11回
		広報誌に認知症理解に関する記事を掲載	住民		年2回	包括	認知症の正しい理解、地域での見守りのポイントなどを掲載。	年2回
柴田町	柴田町	認知症サポーター養成講座	小学生	1か所の小学校3年生を対象に実施	年1回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員、町保健師）	社会福祉協議会の防災福祉体験学習として実施。寸劇を取り入れた。	継続
		認知症サポーター養成講座	町職員	福祉課、健康推進課、社会福祉協議会職員等	年1回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員、町保健師）	認知症サポーターキャラバンDVD、パワーポイントを活用。	依頼あれば随時対応。
		認知症サポーター養成講座	住民	よつば会会員、団体、地域住民	年6回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員、町保健師）	認知症サポーターキャラバンDVD、パワーポイントを活用。	継続
		認知症サポーターステップアップ講座	認知症サポーター	認知症サポーターとして活動したい方等	年1回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員、町保健師）	広報誌・チラシで周知。当事者や家族の経験談を予定。	継続

圏域等	市町村	事業名（取組等）	対象		R5 実施回数	運営従事者	実施経緯・工夫	R6予定	
			対象	対象詳細					
仙南	川崎町	介護予防フェスティバル	住民		年1回	地域包括支援センター職員、認知症地域支援推進員、後期高齢医療担当、キャラバンメイト	介護予防グループの発表、キャラバンメイトのレク体験コーナー、口腔フレイルと認知症の関係についての講演会	講演会、発表、コーナーを2日間に分けて開催予定	
	丸森町	広報誌に認知症理解に関する記事を掲載	住民	住民	年1回	地域包括支援センター職員（保健師）	認知症ともの忘れの違い、相談窓口を掲載。	継続	
		認知症サポーター養成講座	職員	保健福祉課職員（約40名を対象）	1回（1月予定）	キャラバンメイト	当事者視点について動画も取り入れながら行う	住民や職員を対象に継続	
		アルツハイマーデー及び月間における普及啓発	住民	役場庁舎来庁者	年1回	地域包括支援センター職員、認知症カフェ参加者	ポスター掲示、認知症関連事業の周知。認知症カフェ参加者とオレンジの花・認知症キャラバンマスコットキャラクターのペーパークラフトを作成し展示。	継続	
		相談窓口としての地域包括支援センターのチラシの配布、設置	住民	医療機関（病院、診療所、薬局、民生委員、まちづくりセンター等）	随時	地域包括支援センター職員	相談窓口と相談内容をわかりやすく作成した。	継続	
仙台	仙台市	認知症サポーター養成講座	小学生	介護研修室からの報告より把握。保護者や教師等含まれている場合あり、詳細は把握できていない。	19回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員 他）	認知症を理解してもらいやすいよう、対象ごとに寸劇や紙芝居、ロールプレイングを活用。認知症当事者の声を直接聞く機会を設ける例もあった。	継続	
		認知症サポーター養成講座	中学生	介護研修室からの報告より把握。保護者や教師等含まれている場合あり、詳細は把握できていない。	7回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員 他）	同上	継続	
		認知症サポーター養成講座	高校生	介護研修室からの報告より把握。保護者や教師等含まれている場合あり、詳細は把握できていない。	1回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員 他）	同上	継続	
		認知症サポーター養成講座	大学・専門学校		14回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員 他）	同上	継続	
		認知症サポーター養成講座	企業（金融・保健・小売・）		32回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員 他）	同上	継続	
		認知症サポーター養成講座	住民他		58回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員 他）	同上	継続	
	塩竈市	認知症普及講演会	住民		年1回	高齢者福祉課、各包括支援センター職員	地域課題の一つとして、認知症の正しい理解や普及・啓発に関することがあり、専門医及び当事者に講話をいただいた。	継続	
		認知症サポーター養成講座	企業（金融）	ゆうちょ銀行職員対象（55名）	2回	キャラバンメイト、包括支援センター職員	事前に学びたい・聞きたい内容を聞き、金融機関での事例を用いながら講話を実施。	継続	
		認知症サポーター養成講座	医療機関（リハビリ職）	塩竈市立病院（リハビリ職16名）	1回	キャラバンメイト、包括支援センター職員	入院患者でよくある事例を用いて、専門職目線でアセスメントしながら考えてもらった。	継続	
		認知症サポーター養成講座	住民		7回	キャラバンメイト、包括支援センター職員		ステップアップ講座の希望も聞かれたため、依頼があった時に対応していく。	
		認知症サポーター養成講座	企業（市役所職員）	塩竈市役所職員	2回	高齢福祉課、包括支援センター職員		継続	
		認知症サポーター養成講座	小学生	・玉川小学校4年生 ・浦戸小学校5・6年生	2回	高齢福祉課、包括支援センター職員	わかりやすく、伝わりやすくするために、紙芝居などを用いて行った。	依頼があれば、随時対応する	
		認知症サポーター養成講座	介護サービス事業所		2回	キャラバンメイト、包括支援センター職員	認知症とはどんな病気か、早期発見の目安、相談窓口を掲載 各関係者との連携	継続	
		認知症サポーター養成講座	団体	・社会福祉協議会 ・塩竈市食生活改善推進員	2回	地域包括支援センター	認知症とはどんな病気か、早期発見の目安、相談窓口を掲載	継続	
		広報誌に認知症理解等に関する記事を掲載	市民		年1回	高齢福祉課	認知症の本人の想いを知るためのリーフレットや認知症普及講演会の紹介	未定 広報誌以外の周知方法も検討	
		名取市	認知症普及啓発パネル展示	住民		年5回	包括・事業所から媒体の提供推進員・市が作成	アルツハイマー月間に名取市図書館やイオンモール名取で展示。また、イベントでもパネル展示を行った。	
			認知症当事者講演会	住民	広く周知し、全市民を対象として実施	年1回	認知症当事者、ファシリテーター、推進員、市	認知症当事者に経験談や思いを伺う機会とする。	
			認知症サポーター養成講座	住民	広く周知し、全市民を対象として実施	年1回	社会福祉法人、認知症当事者、キャラバンメイト、推進員、市	社会福祉法人による寸劇での講座を行った。また、認知症当事者やその家族が合唱を披露した。	
	認知症サポーター養成講座		住民	高齢者サロン	年1回	キャラバンメイト			
	認知症サポーター養成講座		住民	認知症家族等交流会受託事業所が開催	年1回	キャラバンメイト			
認知症サポーター養成講座	小学生		4年生 50名	年1回	キャラバンメイト	地域の方に絵本の朗読を依頼した。			
認知症サポーター養成講座	住民			年1回	キャラバンメイト				
認知症サポーター養成講座	住民		老人クラブ	年1回	キャラバンメイト				
認知症サポーター養成講座	小学生		5年生 110名	年1回	キャラバンメイト	感染症の流行で延期になったが開催予定。			
認知症サポーター養成講座	住民			年1回	キャラバンメイト				
認知症サポーター養成講座	高校生		2年生 23名	年1回	キャラバンメイト	生活科の生徒に実施した。			
認知症サポーター養成講座	住民		養成講座を受講した住民	年1回	認知症当事者、ファシリテーター、推進員、市	チームオレンジの説明や認知症の症状・対応の基本姿勢や心構えの講義を行った。また、認知症当事者からの講話や認知症サポーターの取組紹介を取り入れた。			

圏域等	市町村	事業名（取組等）	対象		R5 実施回数	運営従事者	実施経緯・工夫	R6予定
			対象	対象詳細				
仙台	多賀城市	認知症サポーター養成講座	住民等	一般住民等	年12回	キャラバンメイト（地域包括支援センター職員、施設管理者等）、市保健師	当事者からのメッセージDVDやグループワークなどを実施	継続
		認知症サポーター養成講座	シルバー人材センター会員	シルバー人材センター新規登録者（希望者）	年4回	キャラバン・メイト（シルバー人材センター）、包括職員	シルバー人材新規登録者に対して、包括の機能の紹介や事例紹介	継続
		認知症サポーターフォローアップ講座	住民等	認知症サポーター養成講座受講者	年3回	キャラバンメイト、認知症の人と家族の会（認知症当事者とその家族）、警察署、市保健師、包括職員	中核症状や周辺症状への理解と対応・はいかいSOS・介護者支援など毎回テーマを決めて実施	継続
		狂犬病予防注射会場での普及啓発	住民	飼犬登録者で狂犬病予防注射会場来所者	年1回	市職員（生活環境課）	認知症・SOSネットワークなどの理解を深め、犬の散歩をしながらできる見守り協力についてのチラシを受付で配布	未定
		介護保険まるわかり講座	住民	当該月に新たに65歳の誕生日を迎える市民	年12回	介護・障害福祉課職員、健康長寿課職員	要介護認定になる要因で一番多いのが認知症であることや社会性の維持が大切であることの周知、各種講座のPR	継続
		脳と体のいきいき講座	住民	運動制限のない前期高齢者	年7回	健康長寿課職員	認知症予防の運動を中心に、認知症とはどのような病気か理解を深める講話を行い、相談窓口を周知。サポーター養成講座の案内	継続
		認知症講演会	住民及び認知症高齢者支援関係者	一般住民、市内居宅介護支援事業所職員等	年1回	認知症の人と家族の会、認知症疾患医療センター看護師、包括職員、市職員	認知症についての正しい知識や当事者の思いや体験を知ってもらうことで、認知症への理解を地域に広めることを目指した。	継続（予定）
		広報紙及び市役所行政情報広告モニターにて認知症に関する記事を掲載	住民		年1回	介護・障害福祉課職員	アルツハイマー月間の周知及び認知症理解を広めるための市の取組について掲載。	継続
岩沼市	岩沼市	認知症コーナーの設置（図書館）	市民	図書館来館者	1回（1か月間）	図書館職員、認知症施策担当者	認知症を知る月間に合わせて、図書館の協力を得て実施。図書館利用者の目につく場所（入口付近）にコーナーを設置した。	継続
		FMいわぬまにて放送	市民	視聴者	1回	FMいわぬま職員、市FM担当職員、認知症施策担当者	認知症について理解を深める内容の放送を行った。	継続
		のぼり旗の設置	市民		1回（1か月間）	認知症施策担当者	市役所駐車場前にのぼり旗を複数設置した。	継続
		広報に認知症関連記事を掲載	市民		1回	広報担当者、認知症施策担当者	認知症の症状や対応、高校生の意見などを掲載した。	継続
		リーフレット・啓発グッズの配布	市民	スーパー、金融機関利用者	4回	地域包括支援センター職員、ボランティア、高校生、認知症施策担当者	スーパーや金融機関の出入口付近でリーフレットと手作りの啓発グッズを配布した。	継続
		認知症サポーター養成講座	小学生 中学生 高校生	市内小学校1校、中学校4校、高校1校と、要請のあった団体に対して実施	20回	キャラバンメイト、認知症施策担当者	各学校や団体と実施方法について相談しながら実施した。	継続
富谷市	富谷市	認知症学びの講座（認知症サポーター養成講座）	中学生	中学生を対象に実施	年2回	キャラバンメイト、保健師、地域包括支援センター	実施希望のあった学校に対して実施	継続
		認知症学びの講座（認知症サポーター養成講座）	住民	地域住民を対象に実施	随時	キャラバンメイト、地域包括支援センター	各圏域地域包括支援センターの認知症地域支援推進員が、各地域の団体や住民に対して随時実施	継続
		認知症学びの講座（認知症サポーター養成講座）	市職員	市役所職員を対象に実施	年1回	キャラバンメイト、保健師	全ての市役所職員が受講できるよう経年的に実施	継続
		認知症学びの講座（認知症サポーター養成講座）【職域】	企業（郵便局）	郵便局員を対象に実施	年2回	キャラバンメイト、保健師	郵便局より依頼あり実施	今後も企業や商工会加入店等へ周知し、随時開催していく
		認知症サポーターフォローアップ研修【一般】	住民	オレンジリングを所有している方を対象に実施	年1回	キャラバンメイト、保健師、地域包括支援センター	サポーターとして具体的な活動へ展開できるようフォローアップ研修を実施予定	継続
亘理町	亘理町	認知症理解に関するパンフレット配布	住民	役場等への来庁者、出前講座やイベント等の参加者	随時	包括職員	認知症とはどんな病気か、早期発見の目安、相談窓口を掲載	継続
		包括の広報誌に認知症理解の記事掲載	住民	医療機関・役場関係機関にて配布	年4回	包括職員	相談窓口の掲載	継続
		認知症サポーター養成講座	住民	町内会・地域住民	5回	キャラバンメイト、包括職員	寸劇を取り入れ、イメージしやすくした。	継続
		認知症サポーター養成講座	小学生	小学4年生	1回	キャラバンメイト、包括職員	グループワークを行い気づきを共有	依頼があれば実施
山元町	山元町	認知症サポーター養成講座	住民		2回	地域包括支援センター職員	認知症の正しい理解がより得られるような内容にした。	地域から要望があれば、随時開催。
松島町	松島町	認知症サポーター養成講座	小学6年生	町内の小学6年生全員を対象として実施	3回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	参加者に質問したり、紙芝居を取り入れたりと、理解しやすい工夫している。	継続
		認知症サポーター養成講座	町民等	町民や町内に勤める方等を対象として実施	1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	参加者に問いかけながら、参加型の講座を実施している。	継続
		認知症サポーターステップアップ講座	町民等	町民や町内に勤める方等を対象として実施	1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	1月下旬に実施予定	継続
		地域包括支援センター便り	町民	町内に全戸配布	2回	地域包括支援センター職員	認知症の早期発見、予防、認知症ケアパス周知等	継続
七ヶ浜町	七ヶ浜町	認知症サポーター養成講座	住民等	・地区介護予防教室参加者 ・その他住民や企業からの依頼	年3回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	・町内で開催している介護予防教室等と連携し実施 ・キャラバンメイトと連携協力を受ける	継続
		認知症啓発ののぼり	住民等	役場来庁者へ向け認知症の啓発	通年	地域包括支援センター職員	役場の正面玄関に設置し、認知症に対する啓発を行う。	継続
		広報誌等への掲載	住民	年齢を問わず、住民に対し啓発	年2回	地域包括支援センター職員	広報誌に対し、若年性認知や認知症の早期相談できるような記事を掲載	継続

圏域等	市町村	事業名（取組等）	対象	対象詳細	R5 実施回数	運営従事者	実施経緯・工夫	R6予定
仙台	利府町	認知症サポーター養成講座	町民外	町民、各種団体	6回	キャラバンメイト	認知症理解講話、映像による講座	継続
		認知症サポーターステップアップ講座	町民外	町民、各種団体	1回	キャラバンメイト	認知症理解講話、映像による講座	継続
		広報紙に認知症に関する記事を掲載	町民		1回	担当課職員	認知症の普及啓蒙のために9月の世界アルツハイマー月間について掲載	継続
		のぼり旗の設置	町民		9月	担当課職員	認知症の普及啓蒙のために役場に設置	継続
		ケアパス・認知症パンフレットの設置	町民		通年	担当課職員	認知症の普及啓蒙のために役場等に設置	継続
		介護予防講演会	町民		1回	地域包括支援センター	認知症理解のための講演会を開催	未定
	大和町	認知症サポーター養成講座	住民	一般住民等	年1回	町職員、キャラバンメイト	広報誌掲載、チラシ配布（令和6年1月より開始）	継続
		認知症サポーターフォローアップ研修会	サポ登録者	町内の認知症サポーター、居宅介護支援事業所職員	年2回	認知症地域支援推進員		継続
		認知症サポーター座談会	サポ登録者	町内の認知症サポーター	年3回	認知症地域支援推進員	サポーター同士の自由な意見交換の機会として令和6年2月実施予定。	未定
		広報誌への掲載	住民	一般住民等	年2回	町職員	認知症の正しい理解や支えあいの重要性、相談窓口や関連事業を紹介。	継続
		アルツハイマー月間に認知症特設ブースを設置	住民	一般住民等	年1回	認知症地域支援推進員	町内施設で認知症特設ブースを設置。町事業や相談窓口についての周知と関連チラシを設置した。	継続
	大郷町	認知症サポーター養成講座	住民	住民主体の集いの場等にて実施。	年2回	キャラバンメイト	認知症についての正しい理解と対応時のポイント等について寸劇を交え講話を実施。	依頼があれば随時対応する。
		オレンジ新聞の発行	住民	広報誌の発行と合わせて、全戸配布	年4回	保健福祉課 長寿・介護係	認知症の基礎的な知識を掲載するほか、気づきのチェックリストを掲載することで早期発見につながる機会とした。	継続
		認知症サポーター養成講座	住民、村内在勤の方	住民、村内在勤の方を対象に実施	年1回	キャラバンメイト、大衡村地域包括支援センター職員	グループワークを取り入れ参加者同士学びを深める	企業や小中学生を対象に開催予定
	大崎 栗原	栗原市	認知症サポーター養成講座	小学生	学年単位を対象として実施。市内3校、それぞれ3・4年生（8人）、4年生（26人）、5年生（29人予定）	3回	キャラバンメイト、地域包括支援センター	包括から学校へ声がけして実施。若年性認知症についても触れた内容であり、自分の家族が認知症になったらどうするか身近なこととして感じてもらった。
認知症サポーター養成講座			中学生	学年単位を対象として実施。市内1校、3年生（53人）	1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター	数年前から包括から学校へ声がけして実施。若年性認知症、ヤングケアラーについても触れた内容。	依頼があれば随時対応
認知症サポーター養成講座			高校生	学年単位を対象として実施。市内1校、1年生（35人）	1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター	数年前から包括から学校へ声がけして実施。若年性認知症、ヤングケアラーについても触れた内容。地元グループホームに勤務する	依頼があれば随時対応
認知症サポーター養成講座			市民	市民、民生委員、自治会、認知症カフェ、ボランティアグループ等（288人）	15回	キャラバンメイト、地域包括支援センター	認知症に対する理解を深めるとともに、各々の立場でできることを考えてもらう。	依頼があれば随時対応
認知症サポーター養成講座			企業	調剤薬局、デイサービス、宅配弁当業者（21人）		キャラバンメイト、地域包括支援センター	各々の立場でできることを考えてもらう。宅配弁当業者は見守り活動も兼ねる。	依頼があれば随時対応
認知症研修会			支援者	ケアマネジャー、地域包括支援センター、保健部門の保健師（61人）	年1回	認知症疾患医療センター、介護福祉課	認知症疾患医療センターの実施する地域向けの研修会。日頃高齢者と接する支援者が認知症とそれ以外の疾患を見極めることにより、早期対応ができるようにする。また、支援者が認知症疾患医療センターについて理解し、適切に連携できるようになる。	なし
大崎市		認知症サポーター養成講座	中学生	中学3年生全員（50名）を対象として実施	年1回	キャラバンメイト	中学校で毎年実施。サポーター養成講座、福祉体験実施	継続。他中学校への拡大期待
		認知症サポーター養成講座	高校生	高3年29人	年1回	キャラバンメイト	先生が認サポ受講者で生徒にも必要と実施に至る。	継続を依頼
		認知症サポーター養成講座	小学生	小4年、学童の2か所160人	年1回	キャラバンメイト	総合学習、夏休み事業で実施	他小学校への拡大期待
		認知症サポーター養成講座	専門学校	看護学校	年1回	キャラバンメイト	教師がメイト。包括・市の事業等も紹介	継続
		認知症サポーター養成講座	民生委員	5協議会110人	年1回	キャラバンメイト	民協の改選に合わせ、講座の説明を実施。チラシの配布→希望団体で実施	未実施協議会へアプローチ
		認知症サポーター養成講座	高齢者等	5回56人	年1回	キャラバンメイト	チラシ配布、認知症のことを学びたい人へ講座紹介	継続
		認知症サポーター養成講座	企業等	交通機関、介護事業所等、市職員、公募138人	年7回	キャラバンメイト	チラシ配布、メイト企画、認知症のことを学びたい人へ講座紹介	継続
		広報に認知症理解に関する記事を掲載。ウェブサイト掲載	住民		年1回	高齢者福祉担当	認知症とはどんな病気か、早期発見の目安、相談窓口関わり方を掲載	継続
		アルツハイマー月間に啓発活動、その他	住民		年1回	図書館、市民病院、市役所	アルツハイマー月間を周知し、啓発を検討。認知症コーナーの設置、相談会の実施。	継続
	色麻町	認知症サポーター養成講座	中学生	中学1年生全員を対象として実施	1回	キャラバンメイト、包括	実際に就労している場面での接し方など交えて講演した	継続
加美町	認知症サポーター養成講座	小学生	小学5～6年生（53名）	年2回	キャラバンメイト、保健師	総合学習の一環で依頼を受ける。認知症の正しい理解、対応についての啓発	随時募集継続	
	認知症サポーター養成講座	住民	行政区ミニデイ（71名）	年4回	キャラバンメイト、保健師	認知症の正しい理解、対応についての啓発	随時募集継続	

圏域等	市町村	事業名（取組等）	対象		R5 実施回数	運営従事者	実施経緯・工夫	R6予定
			対象	対象詳細				
大崎 栗原	涌谷町	認知症サポーター養成講座	一般住民	町内在住の住民対象	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員（直営）	町及び社協の広報、民生委員児童委員協議会、介護予防事業等の場で周知し18人受講。講話のほか、対応方法について寸劇のDVD放映及び寸劇の実施。また丹野智文氏のビデオレターを上映した。	継続
		認知症サポーター養成講座	地域住民	（相談時対応）	随時	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員（直営）	養成講座の内容はキャラバンメイト連絡会で見直しを行っている。	依頼があれば、随時対応する。継続。
		広報誌に認知症理解に関する記事を掲載	地域住民	-	年1回	地域包括支援センター職員（直営）	アルツハイマー月間に併せて、認知症の症状、早期発見の必要性、相談窓口の周知等	継続
		認知症図書の貸出	地域住民	-	年1回	地域包括支援センター職員（直営）	アルツハイマー月間に併せて、町公民館の図書室に認知症図書コーナーを設置。	継続
		福祉まつりにおける認知症啓発ブース出展	地域住民	-	年1回	地域包括支援センター職員（直営）	認知症に関する絵本の展示、ケアパスの設置、認知症カフェや相談窓口の紹介等を実施。子どもから高齢者まで幅広く周知を図った。	福祉まつりの開催に合わせ実施
		認知症図書の読み聞かせ	小学生	児童クラブを利用している小学生対象（夏休み期間に実施、春休みに実施予定）	年2回	子育て応援ボランティア（読み聞かせ）、地域包括支援センター職員（直営）	ボランティアに協力いただき、「だいすきだよ、きよちゃん」の絵本の読み聞かせ及び認知症について簡単な説明を行なった。	児童クラブ3か所中、2か所実施（予定含む）、残り1か所についても開催を検討
	美里町	認知症サポーター養成講座	住民	行政区の町民（希望者）を対象に実施（15名）	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	行政区長より行政区内の認知症について興味のある町民に参加してほしいと依頼あり。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症サポーター養成講座	住民	くらしのサポーター養成講座受講者を対象に実施（24名）	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	認知症サポーターとしてできることは何かグループワークを行った。	継続
		認知症サポーター養成講座	住民	みさと元気塾・脳いきいき教室受講者を対象に実施（18名）	年2回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	認知症サポーターとしてできることは何かグループワークを行った。	継続
		認知症サポーター養成講座	小学生	小学校1校（4年生）を対象として実施	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	小学校の総合学習の一環で依頼あり。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症サポーター養成講座	住民	いきいき元気サポーター養成講座受講者を対象に実施（21名）	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	認知症サポーターとしてできることは何かグループワークを行った。	継続
		認知症サポーター養成講座	住民	行政区の町民（希望者）を対象に実施（21名）	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	地区社協より地域内の住民に対して認知症の理解を進めたいと依頼あり。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症サポーター養成講座	高校生	高校（2年生）を対象として実施	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	高校の総合学習の一環で依頼あり。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症サポーター養成講座	住民	議会議員を対象として実施	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	議会議員の研修として依頼あり。	依頼があれば、随時対応する。
認知症に関する講演会		住民	町民	年1回	専門医、地域包括支援センター職員	町民向けに認知症に関する講演会を実施した。	継続	
世界アルツハイマー月間		住民	町内図書館（2か所）、コミュニティセンターで認知症に関するコーナーの設置。町内図書館（1か所）にて講演会を開催。	年1回	地域包括支援センター職員	認知症関連図書や作品の展示等を通して認知症の周知を行った。講演会にて保健師と管理栄養士から認知症予防についての内容で講話を行った。	継続	
みさとっこマーケット	住民	イベント参加者	年1回	地域包括支援センター職員	認知症に関するブースを設置して周知を行った。	随時対応。		
町広報	住民		年1回	地域包括支援センター職員	認知症とはどういう病気か、相談窓口等について掲載。	継続		
石巻 登米 気仙沼	石巻市	認知症サポーター養成講座	住民	一般市民から、中学校、企業等（215名）	11回	キャラバンメイト	認知症サポーター養成講座を開催。	依頼があれば随時対応する。
		認知症サポーター開放講座	住民	一般市民（48名）	2回	キャラバンメイト、市保健師	住民が普段利用する施設や商業施設を会場に開催	継続
		認知症サポーター育成ステップアップ講座	認知症サポーター	認知症サポーター（11名）	1回	キャラバンメイト、市保健師	声かけ声かけられ体験、アクションミーティングの実施	継続
		世界アルツハイマーデー啓発活動	住民	一般市民	年1回	介護福祉課、認知症地域支援推進員	市役所内に認知症に関する啓発コーナーを設置	継続
		オレンジライトアップ	住民	一般市民	年1回	介護福祉課、認知症の人と家族の会	石ノ森萬画館、イトーヨーカドー石巻あけぼの店をオレンジライトアップし啓発を行った。	継続
		「認知症サポーターがいます」ステッカーの配布	認知症サポーター	受講団体に配布（商店街・保険会社など）	随時	介護福祉課、キャラバン・メイト連絡会	メイトが配付の紹介や積極的に勧める。	継続
	気仙沼市	認知症サポーター養成講座	地域住民	自治会・交流サロンなど	14回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員等	市内の講師一覧「教えて知って応援団」に養成講座を掲載。周知を図っている。	依頼時、対応
		認知症サポーター養成講座	看護学生	看護学生及び教員を対象に実施	1回	キャラバンメイト	学校から依頼があり毎年開催している。	継続
		オンライン認知症サポーター養成講座	地域住民	受講希望者（主に職域層）	1回	市高齢介護課、キャラバンメイト	市で講座を主催して広報に掲載するなど幅広く周知を行う	検討
		認知症サポーターステップアップ講座	地域住民	自治会・交流サロンなど	2回	キャラバンメイト	既存団体の定例研修会に併せ実施。よって、高い参加率であった。	依頼時、対応
		アルツハイマーデーパネル展示イベント	市民	市民	年1回	認知症疾患医療センター、各地域包括支援センター、認知症地域支援推進員	世界アルツハイマーデーパネル展示に合わせて認知症の対応について広く住民に周知。	継続
		アルツハイマーデー図書の企画展示	市民	市民（主に図書館利用者）	年1回	認知症疾患医療センター、各地域包括支援センター、認知症地域支援推進員	世界アルツハイマーデーパネル展示に合わせて、認知症に関する図書やパンフレットを設置する	継続
		市政情報番組での認知症の普及啓発	市民	市民	年1回	認知症地域支援推進員、地域包括支援センター	認知症とはどんな病気か、その病態と認知症への対応について放映	継続※ （※市政情報番組の放映枠内で可能であれば対応）
		七十七銀行出張相談会	市民	市民	2回	認知症地域支援推進員、地域包括支援センター	認知症地域支援推進員による相談、認知症の周知	継続

圏域等	市町村	事業名（取組等）	対象		R5 実施回数	運営従事者	実施経緯・工夫	R6予定
				対象詳細				
石巻 登米 気仙沼	登米市	認知症サポーター養成講座	住民	地域住民	年10回	キャラバンメイト	広報誌、コミュニティFMで募集し実施。	随時
		認知症サポーター養成講座	住民	ミニデイ	年1回	キャラバンメイト	ミニデイから依頼があって実施。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症サポーター養成講座	配食サービス	配食サービスをしている住民、事業所	年3回	キャラバンメイト	社会福祉協議会からの依頼。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症サポーター養成講座	高校生	高校2年生を対象として実施	年1回	キャラバンメイト	学校から依頼があって実施。	依頼があれば、随時対応する。
		認知症サポーター養成講座	住民	いきいき学園生徒	年1回	キャラバンメイト	認知症についてDVD（当事者の声）を利用し具体的に伝えた。	依頼があれば、随時対応する。
		世界アルツハイマーデー及び月間における普及・啓発	住民	コミュニティFM視聴者	年1回	長寿介護課職員	市からのお知らせ枠を利用した	継続
		世界アルツハイマーデー及び月間における普及・啓発	住民		年1回	キャラバンメイト、認知症地域支援推進員、認知症ステップアップ講座修了者、地域包括支援センター職員	認知症ステップアップ講座修了者と共に、市内5カ所の店舗・道の駅で啓発活動を行った。	継続
	東松島市	認知症サポーター養成講座	住民	地域住民	4回	キャラバンメイト	認知症になっても住み続けられる地域づくりのため実施	住民団体より依頼がある都度開催予定
		認知症サポーター養成講座	企業	市役所	1回	キャラバンメイト、市役所職員	認知症になっても住み続けられる地域づくりのため実施	団体より要望がある都度開催予定
		認知症サポーター養成講座	小学生	市内小学校の3年生又は4年生	2回	キャラバンメイト	認知症になっても住み続けられる地域づくりのため実施	団体より要望がある都度開催予定
		認知症サポーター養成講座	施設職員	市内の介護施設職員	4回	キャラバンメイト	認知症になっても住み続けられる地域づくりのため実施	団体より要望がある都度開催予定
		広報紙に認知症事業に関する記事を掲載	住民		2回	認知症施策担当者	認知症地域支援推進員や認知症カフェ、オレンジセーフティネット事業等について掲載	認知症に関する記事を掲載（年1回）
		認知症普及啓発イベント開催	住民		4回	認知症地域支援推進員	地域イベントや商業施設でケアパスの普及活動や認知症について講演会等を開催	各エリアごとに開催予定（年1回）
	女川町	認知症サポーター養成講座	住民	地域の福祉活動推進員を中心として実施（21名）	年2回	地域包括支援センター職員、認知症の人と家族の会	介護経験からどのように認知症対応を行ったらよいかを知ってもらう機会とした。病気の特徴についてもっと深めるよう補足の講座を行う予定	継続
認知症サポーター養成講座		町内（保険会社）	町内企業を対象に実施	年1回	包括支援センター職員	接客の中で遭遇する認知機能低下者への対応を混乱なく行えるよう、疾患の特徴とその対応について知ってもらうことを重点的に行った。	企業から要望があった時に対応商店街などへの啓発を再開予定	
認知症対応広報啓発		住民		年4回	地域包括支援センター職員	徘徊対策について、また介護者が活用できる事業への参加勧奨の記事掲載	継続	
南三陸町	認知症サポーター養成講座	中学生	中学1年生全員（32名）を対象として実施	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	中学1年生であるため、高齢者を理解することも目的に加齢による心身の変化や高齢者体験も実施。	継続 町内中学校2校のうち1校のみ実施であったため、次年度は2校の実施を目指す。	
	認知症サポーター養成講座	高校生	高校1年生全員（53名）を対象として実施	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	毎年継続して実施している。	継続 受講した生徒を中心に普及啓発キャンペーン等に協力してもらえよう調整。	
	認知症サポーター養成講座	郵便局職員	町内の郵便局の職員を対象に実施（4人）	年1回	キャラバンメイト、地域包括支援センター職員	町内の郵便局から要望があり、毎年実施している。	継続	
	認知症普及啓発街頭キャンペーン	住民		年1回	高校生、地域包括支援センター職員	サポーター養成講座を受講した生徒の協力を得て実施。コロナのため中止していたものを復活。	継続	
	アルツハイマー月間として役場庁舎や町立図書館にて展示	住民		年1回	地域包括支援センター職員、図書館職員	認知症についての情報や相談先の周知に加え、図書館では認知症関連図書を収集、ブースを作成した。	継続	